

| | | | | | | |
|---------------|---|----------|----|----|-----|-----|
| 教科名 | 英語 | 単位数 | 3 | | 担 当 | |
| 科目名 | 英語コミュニケーションⅠ | 必修 選択 | 必修 | 選択 | 学 年 | 1 年 |
| 教科書 副教材等 | All Aboard! English Communication I (東京書籍) All Aboard! English Communication I BRIDGE WORKBOOK (東京書籍) | | | | | |
| 選択対象者 | | | | | | |
| 科目の 目 標 | <p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば・・・</p> <p>聞くこと：必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する、また概要や要点を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>読むこと：必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する、または概要や要点を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>話すこと（やり取り）：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>話すこと（発表）：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p> | | | | | |
| 身に付けさせたい資質・能力 | | | | | | |
| 知識および技能 | ①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力 | | | | | |
| 思考力・判断力・表現力等 | ④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力 | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | ⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力 | | | | | |
| 1 授業内容・具体的 | <p>情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を育む資質・能力を育成すること。</p> | | | | | |
| 2 授業の進め方 | <p>「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の2つを重視して授業を進める。授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。また、授業外での学習を求める。反復練習の一部は家庭学習とし、授業は積極的にアウトプットする場として授業を進める。</p> | | | | | |
| 3 評価の規準 | <p>【知識・技能】</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。</p> | | | | | |
| 4 評価の方法 | <p>主に以下の3つの評価方法を採用する：</p> <p>①ペーパーテスト（授業内の小テスト等を含む） ②パフォーマンステスト（＝実技テスト）</p> <p>③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）</p> | | | | | |

| 5 授業計画 | | | | |
|---------------------------------|---------------------------|--|--|-------------------|
| 月 | 領域・単元 (時数) | 学習内容 (■=学習項目(文法等) ●=パフォーマンステスト) | 各単元における評価 | 身に付けさせたい 資質・能力 |
| 4 / 5 / 6 | オリエンテーション(1) | シラバスの提示 授業のグランドルールの確認 | 授業の流れ、評価の方法等を理解している。 | ⑥ ⑦ |
| | クラスルーム・イングリッシュの導入(1) | 授業内で行う英語での指示に慣れる | 授業内で行う英語での指示を理解している。 | ⑧ |
| | PL1 オレの名前は伊藤ネコだ(2) | ■be動詞 ●be動詞を使った自己紹介 | ■be動詞、一般動詞の働きを理解している。 ●英語で自己紹介ができる。 | ① ⑤ ⑧ |
| | PL2 おれはジャンクフードが好きだ(2) | ■一般動詞 ●一般動詞(be動詞以外の動詞)を使った自己紹介 | | |
| | C1 自己紹介(3) | ●より詳細かつ効果的な自己紹介 | | |
| L1 私の朝ごはん(8) | ■過去形 ●自分が好きな食べ物について述べる | ■過去形の働きを理解している。 ●好きな食べ物について述べることができる。 | ① ③ ⑤ | |
| 7 / 8 / 9 | L2 人なつこい野生動物(8) | ■進行形 ●自分と他者が好きな動物について述べる | ■進行形の働きを理解している。 ●自分と他者が好きな動物について述べることができる。 | ① ③ ⑤ |
| | L3 笑顔を運ぶ列車(8) | ■助動詞: can, will ●外国人観光客におすすめの観光地を教える | ■can, willの働きを理解している。 ●外国人観光客におすすめの観光地を教えることができる。 | ① ③ ⑤ |
| | C2 毛がにまつり(3) | ■●道案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で道案内をしたり、道順を尋ねたりする。 ※毛がにまつりでの実践を想定する。 | ■●道案内の場面において使われる表現を理解し、英語で道案内をしている。 | ⑤ ⑧ ⑨ |
| | L4 夢のような絶景(8) | ■to不定詞 ●行きたい場所について英語で述べる | ■to不定詞の働きを理解している。 ●行きたい場所について英語で述べることができる。 | ① ⑤ ⑦ ⑧ |
| | 10 / 11 / 12 | 英文Eメールの書き方(2) | ●ALTから送られてきたメールに英語で返信する | |
| L5 長浜高校水族館部(8) | ■動名詞 ●将来の夢について述べる | ■動名詞の働きを理解している。 ●将来の夢について述べるができる。 | ① ③ ⑤ | |
| R 1 Short Stories in English(4) | | ■アクセント・発音記号など ●抑揚・リズムをつけた音読 | ■発音記号やアクセントの役割を理解している。 ●抑揚・リズムをつけて音読できる | ① |
| | L6 奇想天外な浮世絵師(8) | ■受け身 ●好きな芸術作品について述べる | ■受け身の働きを理解している。 ●好きな芸術作品について述べることができる。 | ① ② ⑤ |
| | L7 アンネ・フランク(8) | ■比較表現 ●関心のある人物について述べる | ■比較表現の働きを理解している。 ●関心のある人物について述べることができる。 | ① ② ⑤ |
| 1 / 2 / 3 | L8 ロボットカフェ(8) | ■現在完了形 ●人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案する | ■現在完了形の働きを理解している。 ●人の生活を豊かにするロボットについて英語で提案している。 | ① ② ⑤ |
| | C3 乗り換え案内(3) | ■●電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で尋ねたり案内したりする | ■●電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で尋ねたり案内したりできる。 | ⑤ ⑧ |
| | L9 海の豊かさを知る(8) | ■名詞を後ろから説明する分詞 ●環境を守るためにできることを述べる | ■名詞を後ろから説明する分詞の働きを理解している。 ●環境を守るためにできることを発表できる。 | ① ② ⑤ ⑧ |
| | L10 海への贈り物(8) | ■関係代名詞 ●海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べる | ■関係代名詞の働きを理解している。 ●海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる。 | ① ② ⑤ |
| | R 2 The Wizard of Oz(4) | ■3つのショートストーリーを読み、各場面や心情を読み取りユーモアを学ぶ ●抑揚・リズムを付けた音読 | ■発音記号を用いることができる。 ●抑揚・リズムをつけて音読できる。 | ① |

時数合計 (105)

| | | | | | | |
|---------------|--|----------|----|----|----|----|
| 教科名 | 英語 | 単位数 | 4 | | 担当 | |
| 科目名 | 英語コミュニケーションⅡ | 必修 選択 | 必修 | 選択 | 学年 | 2年 |
| 教科書 副教材等 | All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍) Vision Quest New English Grammar 24 For 3rd Edition・Ultimate 2nd (啓林館) Vision Quest New English Grammar 24 WORKBOOK (啓林館) | | | | | |
| 選択対象者 | | | | | | |
| 科目の 目標 | <p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば・・・</p> <p>聞くこと：必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する、また概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>読むこと：必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する、または概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>話すこと（やり取り）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>話すこと（発表）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、詳しく話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</p> | | | | | |
| 身に付けさせたい資質・能力 | | | | | | |
| 知識および技能 | ①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力 | | | | | |
| 思考力・判断力・表現力等 | ④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力 | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | ⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力 | | | | | |
| 1 授業内容・具体的目標 | 情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を育てる資質・能力を育成すること。 | | | | | |
| 2 授業の進め方 | 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の2つを重視して授業を進める。授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。また、授業外での学習を求める。反復練習の一部は家庭学習とし、授業は積極的にアウトプットする場として授業を進める。 | | | | | |
| 3 評価の規準 | <p>【知識・技能】</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。</p> | | | | | |
| 4 評価の方法 | <p>主に以下の3つの評価方法を採用する：</p> <p>①ペーパーテスト（授業内の小テスト等を含む）②パフォーマンステスト（＝実技テスト）</p> <p>③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）</p> | | | | | |

| 5 授業計画 | | | | |
|--------|---|--|---|-------------------|
| 月 | 領域・単元 (時数) | 学習内容 (■=学習項目(文法等) ●=アウトプット活動) | 各単元における評価 | 身に付けさせたい 資質・能力 |
| 4 | オリエンテーション (1) | シラバスの提示 授業のグランドルールの確認 | 授業の進め方や評価基準を理解している。 | ⑥ ⑦ |
| 5 | Pre-Lesson: 今年や ってみたいこと (2) | ●自分が今年やってみたいこと | ●自分が今年やってみたいことを述べるができる。 | ① ② ⑤ |
| 6 | L1: プラーノ島 (12) | ■関係代名詞: what ●海外で行ってみたい場所について | ■関係代名詞の働きを理解している。 ●海外で行ってみたい場所について述べている。 | ② ⑤ |
| | Let's Listen 1: ホ テルにチェックイン Communication 1: 病 院で診察(2) | ■ホテルのチェックイン時の 表現 ●病院で診察を受ける | ■ホテルのチェックイン時の表現 を理解している。 ●病院で診察を受ける流れを理解 している。 | ③ ⑤ ⑨ |
| | L2: サムのリクエ スト(12) | ■比較表現: more, the most ●世代を超えて人気のある人 物について | ■比較表現: more, the mostの働 きを理解している。 ●世代を超えて人気のある人物に ついて述べている。 | ② ⑤ |
| | A day in English (3)(毛がにまつり2 を含む) | ■日常の場面で用いる語彙 ●日常生活について | 毛がにまつりでの出来事を、適 切な語彙を用いて表現している。 | ① ② |
| 7 | L2: ワイルドマンの 世界(12) | ■itの用法(It is ... for ~ to V等) ●身近な行事について | ■itの用法(It is ... for ~ to V等)を理解している。 ●身近な行事について述べている | ② ③ ⑤ |
| 8 | Let's Listen 2: 世 界自然遺産 Extra Target 1: 現 在完了進行形(3) | ■世界自然遺産について述べる 表現 ■現在完了進行形 | ■世界自然遺産について述べる表 現を理解している。 ■「ずっとVし続けています」と いう状況を説明できる。 | ② ⑤ |
| 9 | L4: ハチドリのはず く(12) | ■間接疑問文 ●自分の好きな物語について | ■間接疑問文の働きを理解して いる。 ●自分の好きな物語について述 べている。 | ② ③ ⑤ |
| | L5: 歌舞伎メイクの 物語(12) | ■to不定詞を含む表現 ●日本の伝統文化について | ■to不定詞を含む表現の働きを理 解している。 ●日本の伝統文化について述 べている。 | ② ⑤ |
| 10 | Reading 1: Mujina (4) | 東京が江戸と呼ばれていた頃 の話を読む | 発音記号、アクセントについて 理解している。 | ① |
| 11 | L6: 伝統野菜を未来 につなぐ(12) | ■「~かどうか、だろうか」 のif ●地元で有名な場所やもの について | ■「~かどうか、だろうか」のif の働きを理解している。 ●地元で有名な場所やものにつ いて述べている。 | ② ③ ⑤ |
| 12 | L7: アートで世界を つなぐ(12) | ■関係副詞: where, when ●世界の人々と交流する方 法について | ■関係副詞: where, whenの働 きを理解している。 ●世界の人々と交流する方 法について | ② ③ ⑤ |
| 1 | Communication 2: 入 国審査(3) | ■入国審査で使用する表現 ●入国審査の質問への返答 | ■●入国審査で使用する表現を理 解し、質問への返答ができる。 | ③ ⑤ |
| 2 | L8: 自然のデザイン に学ぶ(12) | ■知覚動詞(see, hear, feel など) ●自然界のデザインをヒント にした製品について | ■知覚動詞(see, hear, feelな ど)の働きを理解している。 ●自然界のデザインをヒントにし た製品について述べている。 | ② ⑤ |
| 3 | L9: 甘いチョコレ ートの辛い現実(12) | ■使役動詞(make, let, have など) ●社会的な問題について | ■使役動詞の働きを理解して いる。 ●社会的な問題について述べて いる。 | ② ③ ⑤ |
| | エッセイライティ ング Extra Target 2: 仮 定法過去 | ●社会的な話題についてエッ セイを書く ■仮定法過去 | ●社会的な話題についてエッセ イを書く。 ■「~ならいいのに…」という気 持ちは表現できる。 | ② |
| | L10: ナイチンゲール (12) | ■分詞構文(Vしながら、V すると) ●人を助ける職業について | ■分詞構文の働きを理解して いる。 ●人を助ける職業について述 べている。 | ② ⑤ |

時数合計 (140)

| | | | | | | |
|---------------|---|----------|----|----|-----|-----|
| 教科名 | 英語 | 単位数 | 4 | | 担 当 | |
| 科目名 | 英語コミュニケーションⅢ | 必修 選択 | 必修 | 選択 | 学 年 | 3 年 |
| 教科書 副教材等 | All Aboard! English Communication III (東京書籍) Vision Quest New English Grammar 24 For 3rd Edition・Ultimate 2nd (啓林館) Vision Quest New English Grammar 24 WORKBOOK (啓林館) | | | | | |
| 選択対象者 | 理数コース、人文コース | | | | | |
| 科目の 目 標 | <p>日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても・・・</p> <p>聞くこと：必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する、また概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>読むこと：必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する、または概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>話すこと（やり取り）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、課題の解決策などを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>話すこと（発表）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に書いて伝えることができる。</p> | | | | | |
| 身に付けさせたい資質・能力 | | | | | | |
| 知識および技能 | ①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力 | | | | | |
| 思考力・判断力・表現力等 | ④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力 | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | ⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力 | | | | | |
| 1 授業内容・具体的目標 | 情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を育てる資質・能力を育成すること。 | | | | | |
| 2 授業の進め方 | 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の2つを重視して授業を進める。授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。また、授業外での学習を求める。反復練習の一部は家庭学習とし、授業は積極的にアウトプットする場として授業を進める。 | | | | | |
| 3 評価の規準 | <p>【知識・技能】</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。</p> | | | | | |
| 4 評価の方法 | <p>主に以下の3つの評価方法を採用する：</p> <p>①ペーパーテスト（授業内の小テスト等を含む）②パフォーマンステスト（＝実技テスト）</p> <p>③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）</p> | | | | | |

| 5 授業計画 | | | | |
|--------------------------|--|---|--|-------------------|
| 月 | 領域・単元 (時数) | 学習内容 | 各単元における評価 | 身に付けさせたい 資質・能力 |
| 4 / 5 / 6 | オリエンテーション (1) | シラバスの提示 授業のグランドルールの 確認 | 授業の進め方、評価基準を理解し ている。 | ⑥ ⑦ |
| | Lesson 1 : Gifts to Barcelona (10) | ■to不定詞、動名詞 ●建築物について英語で紹介 できる。 | ■to不定詞、動名詞の働きを理解し ている。 ●建築物について英語で紹介して いる。 | ② ⑤ |
| | Lesson 2 : Akkamui (10) | ■現在完了形 ●生き物の特徴について、 英語で説明することができる。 | ■現在完了形の働きを理解して いる。 ●生き物の特徴について、英語で説 明している。 | ② ⑤ |
| | Lesson 3 : Your True Colors (10) | ■使役動詞 ●ファッションの意味につ いて、英語でやりとりをす ることができる。 | ■使役動詞の働きを理解して いる。 ●ファッションについて、英語で ディスカッションをしている。 | ③ ⑤ |
| | 毛がにまつり (3) | ●夏祭りでの出店の情報や客 引きなどを行う場面で、情 報や考え、気持ちなどを伝 える。 | ●出店などの情報を伝えようとして いる。 ●他者の考えを聞き取り、状況に合 わせて意思疎通をしている。 | ④ ⑤ ⑥ ⑦ |
| 7 / 8 / 9 | Lesson 4 : Our Future Food? (11) | ■受け身 ●食糧問題について、英語 でミニディベートをす ることができる。 | ■受け身の働きを理解して いる。 ●食糧問題について、英語でミニ ディベートをしている。 | ③ ⑤ |
| | Lesson 5 : Madagascar (11) | ■関係代名詞 ●地域の自然について、英 語でプレゼンテーション をすることができる。 | ■関係代名詞の働きを理解して いる。 ●地域の自然について、英語で プレゼンテーションをしている。 | ② ⑤ |
| | Reading 1 : The Fun They Had (4) | 各場面の状況と登場人物の 心情を読み取る。 | ■やや複雑な構造の物語を音読 できる。 | ⑨ |
| | Lesson 6 : The Mystery of the Terracotta Warriors (11) | ■関係代名詞(コンマ有) ●訪れてみたい史跡につ いて、英語でまとまりのある 文章を書くことができる。 | ■関係代名詞(コンマ有)の働きを理 解している。 ●訪れてみたい史跡について、英 語でまとまりのある文章を書 いている。 | ② ⑤ ⑥ ⑦ |
| 10 / 11 / 12 | Lesson 7 : Green Challenges (11) | ■比較表現 ●再生可能エネルギーにつ いて、国や地域を比較して 英語でプレゼンテーショ ンをすることができる。 | ■比較表現の働きを理解して いる。 ●再生可能エネルギーにつ いて、国や地域を比較して英 語でプレゼンテーション をしている。 | ② ⑤ |
| | Lesson 8 : Witnesses of War (11) | ■名詞を後ろから説明する 分詞 ●経験したことや考えたこ とについて、英語でエッセ イを書くことができる。 | ■名詞を後ろから説明する分詞の働 きを理解している。 ●経験したことや考えたことにつ いて、英語でエッセイを書 いている。 | ② ③ ⑤ |
| | Lesson 9 : The Wonders of Lightning (11) | ■仮定法過去 ●電気の有効活用につ いて、英語でミニディベ ートをすることができる。 | ■仮定法過去の働きを理解して いる。 ●電気の有効活用につ いて、英語でミニディベ ートしている。 | ③ ⑤ ⑥ ⑦ |
| 1 / 2 | Extra Target 1 : 過 去完了形 / 過去完了 進行形 Extra Target 2 : 無 生物主語 (1) | ■過去完了形、過去完了進 行形 | ■過去のある場面の状況を詳細に説 明できる。 | ⑤ ⑧ |
| | Lesson10: Katherine's Long Journey (11) | ■関係代名詞 whose ●社会に影響を与えた人物 について、英語でエッセ イを書くことができる。 | ■関係代名詞 whoseの働きを理 解している。 ●社会に影響を与えた人物につ いて、英語でエッセイを書 いている。 | ② ⑤ |
| | Reading 2 : Table for Two (4) | 各場面の状況や登場人物の 心情を読み取る。 | 各場面の状況や登場人物の心情を 考えたり想像したりしながら音読 している。 | ⑨ ⑥ ⑦ |

時数合計 (140)

| | | | | | | |
|---------------|---|----------|----|----|----|----|
| 教科名 | 英語 | 単位数 | 2 | | 担当 | |
| 科目名 | 論理・表現 I | 必修 選択 | 必修 | 選択 | 学年 | 1年 |
| 教科書 副教材等 | BIG DIPPER English Logic and Expression I (数研出版) | | | | | |
| 選択対象者 | | | | | | |
| 科目の 目標 | <p>日常的・社会的な話題について、必要な支援を活用すれば・・・</p> <p>話すこと（やり取り）：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りができる。</p> <p>話すこと（発表）：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p> | | | | | |
| 身に付けさせたい資質・能力 | | | | | | |
| 知識および技能 | ①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力 | | | | | |
| 思考力・判断力・表現力等 | ④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力 | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | ⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力 | | | | | |
| 1 授業内容・具体的目標 | <p>情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成すること。</p> | | | | | |
| 2 授業の進め方 | <p>「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の2つを重視して授業を進める。授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。また、授業外での学習を求める。反復練習の一部は家庭学習とし、授業は積極的にアウトプットする場として授業を進める。</p> | | | | | |
| 3 評価の規準 | <p>【知識・技能】</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。</p> | | | | | |
| 4 評価の方法 | <p>主に以下の3つの評価方法を採用する：</p> <p>①ペーパーテスト</p> <p>②パフォーマンステスト（＝実技テスト）</p> <p>③その他授業への取組状況</p> | | | | | |

| 5 授業計画 | | | | |
|----------------------|----------------------------------|---|--------------------------------|-------------------|
| 月 | 領域・単元 (時数) | 学習内容 (▲=表現, ★=機能・場面, ●=話題) | 各単元における評価 | 身に付けさせたい 資質・能力 |
| 4 /5 /6 | オリエンテーション (1) | シラバスの提示 授業のグランドルールの確認 | 授業の進め方や評価基準を理解している。 | ⑥ ⑦ |
| | L1 「だれが」「～する」(1) | ▲日本語で省略される主語などに注意して英語の文を表現する ●日常行うことや、天候など | 日本語で省略される主語などに注意して英語の文を表現している。 | ① |
| | L2 動詞をうまく使おう(1) | ▲伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて表現する ●日常行うこと、「～がある[いる]」 | 適切な意味をもつ動詞を用いて表現している。 | ① |
| | L3 名詞の数などに気をつけよう(1) | ▲名詞が数えられるか、特定のものであるかを意識する ●友人や食べ物などの身の回りのこと | 可算・不可算名詞を理解している。 | ① |
| | L4 My friends (2) | ▲「～である[ない]」「～ですか[しますか]」 ●友人など、身の回りの人 | 友人・家族など、身の回りの人について表現している。 | ② ⑤ |
| | L5 My Family (2) | ▲「～する[している]」「～した[していた]」 ●家族など、身の回りの人 | | |
| | L6 Pastime(2) | ▲未来 ●余暇の予定や計画など | 余暇の予定や計画などを未来表現を用いて表現している。 | ① |
| | L7 My Town(2) | ▲現在・過去における完了・継続・経験 ●自分の町や身の回りの状況 | 自分の町や身の回りの状況を表現している。 | ① |
| | L8 Our Teachers (2) | ▲能力・許可・推量 ●先生や学校での生活 | 学校での生活・催し物について説明している。 | ① ② ⑤ |
| | L9 Visiting a Museum(2) | ▲必要・義務や、過去についての推量・後悔 ●催し物や行動・活動など | | |
| 7 /8 /9 | L10 Famous People (2) | ▲「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」など ●有名人など | 有名人などに対する感想について表現している。 | ① ③ ⑤ ⑧ |
| | L11 Reading(2) | ▲「～される/ない」「～に満足だ」など ●読書や感情に関連する事柄など | | |
| | ☆1 短い文章を書いてみよう | ①文章は1文1文の積み重ね ②大事なことは最初に書こう ③読み手・目的を考えて書こう | | |
| | L12 Studying Abroad(2) | ▲「～すること・方法、～するための…」 ●希望や目標、物事を行う方法など | 希望や目標に向けて、他者の協力を依頼できている。 | ① ③ ⑤ ⑧ |
| | L13 Advice(2) | ▲「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」など ●助言や頼み事など | | |
| | L14 Hobbies(2) | ▲「～すること」など ●趣味やその他の日常の活動 | 趣味などの余暇について起きた出来事を表現できている。 | ① ② ⑤ |
| | L15 My Vacation(2) | ▲「～している[された]…」 「～しに行く」「～しているのを見る」など ●休暇での出来事など | | |
| | ☆2 文のつながりを示す語句を使おう ① | ①時間の順序に従って書いてみよう ②理由をいくつか挙げながら書いてみよう ③例を挙げながら書いてみよう | | |
| | L16 In a Zoo(2) | ▲2つのものを比べる ●動物の特徴や人の行動 | 2つ以上のものを比べて文章を書いている。 | ① ② ⑤ |
| | L17 Our Team(2) | ▲「最も」「2倍の～」「できるだけ～」 ●学校での活動などについて他と比較する | | |
| L18 Neighbors (2) | ▲「～する人/物」「…が～する人/物」など ●近所の人など | 人や物、時について追加説明を加えている。 | ① ② ⑤ ⑦ | |
| L19 Speeches(2) | ▲「…が～すること[場所、時]」 ●友人の話や場所・時など | | | |
| | ☆3 文のつながりを示す語句を使おう ② | ①比較・対照して書いてみよう ②原因・結果を明らかにして書いてみよう ③情報や内容を加えながら書いてみよう | 失敗体験について、ストーリーを述べることが出来ている。 | ① ② ⑤ ⑨ |
| 10 /11 /12 | L20 My Wish(2) | ▲事実と異なる状況[願望など] ●自分の願望などの仮定の話 | | |
| | L21 A Birthday Gift(2) | ▲時・理由・条件・名詞の働きをする節 ●プレゼントを贈る場面など | 時・理由・条件・名詞の働きをする節の役割を理解している。 | ① ② ⑤ |
| | ☆4 書いた内容を | ①つづり・語句・文法の間違いはないか | | |

| | | | | |
|-----------------------|-------------------------------|---|--|-----------------------|
| | 読み返し書き直そう | ②本文の趣旨と直接関係のないことはないか③理解しにくい・誤解を招く表現はないか | る。 | |
| | Part 2 L 1 School Life (2) | ★勧誘・提案を行う ●学校生活 | 勧誘・提案を行っている。 | ① ③ ⑤ |
| | L 2 School Subjects (2) | ★依頼する、理由を聞く、述べる ●学校の教科 | 依頼を行い、その内容について確認し合うことができる。 | ① ③ ⑤ |
| | L 3 Free Time (2) | ★確認・訂正 ●余暇の過ごし方 | | |
| | L 4 Feeling Well? (2) | ★心配を表す、助言を行う ●体調など | 他者に助言を行うことができる。 | ③ ⑤ |
| | ☆5 情報・考えをまとめてみよう | プレゼンテーション① | 日常生活について、まとまったプレゼンテーションができる。 | ① ② ③ ⑤ |
| | L 5 Housework (2) | ★義務・必要 ●家事 | | |
| | L 6 The Internet Is Fun (2) | ★期待・確信 ●インターネットに関して | 旅行・休日の計画や出来事について発表することができる。 | ① ② ⑤ ⑧ |
| | L 7 I've Lost Your Book (2) | ★謝罪する・謝罪に応じる ●失敗したことなど | | |
| | L 8 Planning a Trip (2) | ★計画・予定 ●旅行や休日の計画 | | |
| 1 / 2 / 3 | ☆発表の仕方や表現を工夫しよう | プレゼンテーション② | | |
| | L 9 Experiences Abroad (2) | ★感想を尋ねる・述べる ●旅行などでの経験 | | |
| | L10 Exchange Students (2) | ★程度・結果 ●人の性格や特徴など | 人物紹介ができる。 | ② ⑤ |
| | L11 I Want to Be a... (2) | ★願望・目的 ●職業 | | |
| | L12 Cheer Up Your Friend (2) | ★同情・共感する、励ます ●悩みごと | 悩み事について相談できる。 | ③ ⑤ |
| | ☆7 情報・考えを整理して発表しよう | プレゼンテーション③ | クラスメイトに感謝の気持ちを述べる事ができている。 | ① ⑤ |
| | L13 Farewell Party (2) | ★感謝・喜びの気持ちを述べる ●送別の場面など | | |
| | L14 Saving Resources (2) | ★賛成・反対 ●環境問題 | 環境問題や社会問題について、話し合いを基に自分の意見を構成し、プレゼンテーションをすることができる。 | ② ③ ⑤ ⑦ ⑧ |
| | L15 Social Problems (2) | ★意見を尋ねる・述べる ●社会問題 | | |
| | ☆8 発表を聞いて自分の考えをまとめる | プレゼンテーション④ | | |
| | ☆9 競技ディベートを行う | 競技ディベート | | |

時数合計 (70)

| | | | | | | |
|---|--|----------|----|-----------|----|----|
| 教科名 | 外国語 | 単位数 | 2 | | 担当 | |
| 科目名 | 論理・表現Ⅱ | 必修 選択 | 必修 | 選択 | 学年 | 3年 |
| 教科書 副教材等 | MY WAY Logic and Expression Ⅱ (三省堂) MY WAY Logic and Expression Ⅱ ワークブック (三省堂) | | | | | |
| 選択対象者 | 理数コース、人文コース | | | | | |
| 科目の 目標 | <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)</p> | | | | | |
| 身に付けさせたい資質・能力 | | | | | | |
| 知識および技能 | ①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力 | | | | | |
| 思考力・判断力・表現力等 | ④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力 | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | ⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力 | | | | | |
| 1 授業内容・具体的目標 | | | | | | |
| <p>(1) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。これまで学習し、身に付けてきた英語力をさらに伸ばすことが目的となりますので、必ずこれまでの復習を大事にしてください。</p> <p>(2) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、ディベート、プレゼンテーション、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。</p> | | | | | | |
| 2 授業の進め方 | | | | | | |
| <p>(1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。</p> <p>(2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4サイズ)を必ず用意してください。</p> <p><遠隔授業について></p> <p>(1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。</p> <p>(2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。</p> <p>(3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。</p> <p>(4) 遠隔授業では、Google Classroomなどのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。</p> <p>(5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。</p> <p><学習の支援について></p> <p>授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、クラスルームやワークシートに書いてもらっても構いません。</p> | | | | | | |

| | |
|---------|---|
| 3 評価の規準 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。【知識・技能】 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。【知識・技能】 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。【思考・判断・表現】 ・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---------|---|

| 4 評価の方法 | | | | | |
|---------|-------------|-------|----------|------------|-------------------|
| | 評価方法\観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習する態度 | 主な対象 |
| ア | 学習活動の観察 | ○ | ○ | ◎ | 言語活動への取組・振り返りシート等 |
| イ | ワークシート・テスト等 | ◎ | ◎ | ○ | 課題提出、小テスト等 |
| ウ | パフォーマンステスト等 | ◎ | ◎ | ○ | パフォーマンステスト |
| エ | 定期考査 | ◎ | ◎ | | 定期考査 |
| 総括時の比率 | | 1 | 1 | 1 | |

| 5 授業計画 | | | | |
|-----------------------|------------------------------------|--|---|--|
| 月 | 領域・単元 (時数) | 学習内容 | 各単元における評価 | 身に付けさせたい 資質・能力 |
| 4 / 5 / 6 | ○オリエンテーション(1) | ・論理表現Ⅱの学習について ・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理表現Ⅱの学習について見通しをもつ。 | アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理表現Ⅱの学習について見通しをもつ。 なお、一年を通して ①ペーパーテスト等の結果【知識・技能】 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果【思考・判断・表現】 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容)【主体的に学習する態度】 を評価の対象とする。 | ⑥ なお、一年を通して身に付けさせたい資質・能力として ① ⑤ ⑧ を設定する。 これ以降では、各単元において、①⑤⑧に加えて身に付けさせたい資質・能力を記載する。 |
| | ○時制に関わる表現 ●Lesson 1 (4) | 【書くこと/やりとり】 ・現在完了 ・過去完了 ・未来を表す表現 | これまでの経験や好きな場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりする。 | ② ③ |
| | ○助動詞を使った表現 ●Lesson 2 (4) | 【やりとり/発表】 ・助動詞表現 ・used to ・should ・助動詞+have+過去分詞 ・Be動詞+不定詞 □対面授業① ◇パフォーマンステスト | 週末の予定や最新のものなどについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。 | ② ③ |
| | ○受動態を使った表現 ●Lesson 3 Part 1 (2) | 【やりとり】 ・受動態 | 印象深かった授業について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。 | ③ |
| | ○前期中間考査(実施の場合)(1) | ◇考査 | 学習内容の定着状況を確認する。 | ⑥ ⑦ |
| | ○毛がにまつり(3) | 【書くこと/やりとり】 | 夏祭りで行う店の情報や客引きなどを行う場面で、情報や考え、気持ちなどを伝える。 | ② |
| 7 | ○準動詞を使った表 | 【書くこと/やりとり/発 | 贈り物、日本の文化、いろいろな | ② |

| | | | | |
|---------------|--|--|--|--------|
| 8 / 9 | 現 ●Lesson 3 Part 2 ●Lesson 4 ●Lesson 5 (9) | 表】 ・不定詞 ・使役動詞 ・知覚動詞 ・動名詞 ・分詞 | 科学技術や将来の社会状況と職業について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったり、話して紹介したりする。 | ③ |
| | ○比較表現 ●Lesson 6 (4) | 【やりとり/発表】 ・比較級 ・最上級 ・同等比較 ・倍数表現 ・比較の強調 | 物の大きさや、有名な場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。 | ② ③ |
| | ○前期期末考査（実施の場合）（1） | ◇考査 | 学習内容の定着状況を確認する。 | ⑥ ⑦ |
| 10 / 11 | ○ロールプレイ ●Lesson 6 SA (1) | 【やりとり】 ・ホテルでのトラブル解決のロールプレイ | ホテルでのトラブルについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。 | ③ |
| | ○関係詞を使った表現・ディスカッション ●Lesson 7 ●Basic skills 3 (8) | 【やりとり/発表】 ・関係代名詞 ・関係副詞 ・ディスカッション | 火星に関することについて、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったり、話して紹介したりする。 無人島に持って行く物についてディスカッションする。 | ② ③ |
| | ○仮定法を使った表現 ●Lesson 8 ●Basic skills 4 (8) | 【やりとり/発表】 ・仮定法 ・ディベート □対面授業② ◇パフォーマンステスト | 外国に関することや、「もし～、」というテーマについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。 日常的な話題や社会的な話題についてディベートを行う。 | ② ③ |
| | ○後期中間考査（実施の場合）（1） | ◇考査 | 学習内容の定着状況を確認する。 | ⑥ ⑦ |
| 12 / 1 | ○否定の表現、代名詞を使った表現 ●Lesson 9 (5) | 【書くこと/やりとり】 ・否定 ・代名詞 | 悩み事や社会問題について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったりする。 | ② ③ |
| | ○無生物主語を使った表現 ●Lesson 10 ●Basic skills 2 (7) | 【やりとり/発表】 ・無生物主語構文 ・thatを使った表現 ・プレゼンテーション | 調べ学習で調べたことや自分の関心のある人物について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。 | ② ③ |
| | ○学年末考査（実施の場合）（1） | ◇考査 | 学習内容の定着状況を確認する。 | ⑥ ⑦ |

時数合計 (70)